

医療法人南労会 紀和病院季刊誌

ウェルビー



和を以て貴しとなす



副院長 居平典久撮影



第 53 号 2022 年度 冬

医療法人南労会 紀和病院

〒648-0085 和歌山県橋本市岸上 18-1 TEL.0736-33-5000
E-mail: info@nanroukai.or.jp URL: <http://www.nanroukai.or.jp>

和を以て貴しとなす

語源は聖徳太子（存在については諸説があるようですが）の十七条の憲法だと言われており、皆様もよくご存じのことと思います。言葉自体は論語に存在しますが、孔子と聖徳太子では伝えたかった意味が少し違うようです。

十七条憲法におけるこの言葉の意味は2つあり、一つ目は「みんなが相手を尊重しあい、認め合って協調することが何よりも尊いものだ」ということです。二つ目の意味は「しっかりと話し合いを行う」ことです。この中には「争いを避けるだけが和を大切にすることではなく、安易に妥協せずによりしっかりと議論する」という意味も含まれています。

この言葉は最近の臨床現場で重要視される“チーム医療”の考え方です。今から 1400 年も前にこのような考えを持っていた人物がいたとは・・・。それとも 1400 年経っても人類の精神的進歩がないのか・・・。私が勤務する紀和病院でも 18 のチームが発足し、私も僭越ながら NST（栄養サポートチーム）と ICT（感染コントロールチーム）のリーダーを務めさせて頂いております。「和を以て貴しとなす」を実現するためには、医療スタッフが忌憚なく発言できる環境作りと個の力を高めることが必要で、それが他の医療スタッフを尊重することに繋がると考えます。



副院長 居平 典久 いひら のりひさ
日本内科学会 認定内科医、日本内科学会 指導医
日本消化器病学会消化器病専門医、日本肝臓学会肝臓専門医
日本化学療法学会推薦 ICD



初日の出



立山連峰登山



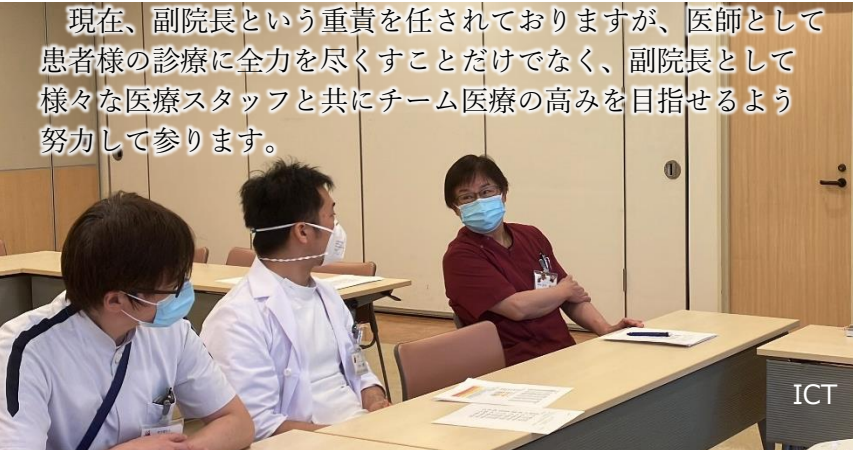
荒木神社（五條市）

私の出身は奈良県五條市で、先祖は西吉野村（五條市西吉野町）に住まいしたと聞いております。五條市立宇智小学校（現在の東小学校）を卒業後、智辯学園中学・高校に進み、その後教師を目指して奈良教育大学に進学しました。卒業後思うところがあって徳島大学医学部に学士入学するのですが、教育学部で学んだものの考え方や人との接し方（接遇とは少し違います）は今も大変役に立っています。また部活は合気道部に所属しておりました。合気道にも流派がありますが、私が所属した合気会では、いたずらに他人と優劣を競わずお互い切磋琢磨しあって心身の錬成を図ることを目的としています。まさにチーム医療の目指すところです。

現在、副院長という重責を任されていますが、医師として患者様の診療に全力を尽くすことだけでなく、副院長として様々な医療スタッフと共にチーム医療の高みを目指せるよう努力して参ります。



学生時代



ICT



NST

KIWA Doctor's Story No.3

謹んで新年のお慶びを申し上げます

昨年には特にコロナ感染が厳しい年でした。当院では、三度のコロナ感染クラスターを経験しました。感染力が強くて私たちの隙を突いて広がるウイルスを抑えきれませんでした。

ただ毒力は弱くなっていて、原疾患の悪化や、細菌感染の合併が患者さんに強いダメージを与えることもあります。コロナ感染自体が重症化することはほとんどなく、今後、感染症としての危険性が見直される日が近いようにも思います。

昨年4月に和歌山県立医科大学より山上裕機医師に当院院長に就任していただきました。

院長は当院の外科系とりわけ消化器外科を、一躍和歌山県でも有数の位置に押し上げられるとともに、病院全体の空気、チーム医療の重視、医療安全、感染対策のレベルの向上など、これまで弱かった面の強化を進められています。

それによって、これまで紀和病院グループが持っていた地域に寄り添った医療、気配り優しさの医療、看護、介護の質が一段と高まっていくことと思います。

世界では急激な気候変動や、環境汚染が深刻になり、また戦争による破壊行動が毎日のようになされています。日本の状況はというと、少子高齢化や、赤字財政からの脱却など、課題に事欠かない状況が続きますが、目の前の一つ一つから解決していくことが一番の近道だと信じて、今年もよろしくお願いします。

理事長 佐藤雅司



新年明けましておめでとうございます

2023年の幕開けです

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は2019年12月初旬に中国武漢市で発生し、瞬く間に世界中に伝播しました。このパンデミック感染症はなお猛威を振るっています。弱毒化しており重症化率は低下してきていますが、まだまだ予断を許さない状況です。

このような新興感染症は数年ごとに発生していますので、平時における有事の備えはきわめて重要だと思っています。紀和病院としても有事に対する準備を心がけておきたいものです。去年はそれ以外に、ロシアによるウクライナ侵攻という到底許すことができない事態となりました。

今年こそ両国の平和交渉が進んで戦争が終結することを祈っています。

さて、2023年は卯年です。卯（うさぎ）は温厚な動物ですが、ひとたび跳躍するととてつもない力を示します。まさに新しいことに挑戦する姿と言えましょう。

紀和病院は『チーム医療』を基本において、地域のみなさまのお役に立てるさらに質の高い病院を目指しています。

今年も新しいことに挑戦しながら、地域貢献に尽力していきましょう。

病院長 山上裕機



脳卒中後の 自動車運転リハビリテーション

「認知」「判断」「操作」
などの運転現状を見える化

「退院したら元の生活に戻りたい」
「後遺症が残ったが車の運転がしたい」

でも・・・
そのまま車の運転を再開すると

違反です!!

道路交通法では、「**一定の症状を呈する病気等**」に該当する場合は、道路交通法 103 条に基づき、運転再開については医師の診断のもと、交通免許センターでの判定が必要となります。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1) 統合失調症 | 6) 重度の睡眠障害 |
| 2) てんかん | 7) その他の精神疾患 |
| 3) 再発性の失神 | 8) 脳卒中 |
| 4) 無自覚性の低血糖 | 9) 認知症 |
| 5) 躁鬱病 | 10) アルコール中毒等 |

当院が支援できる一定の症状を持つ病気

- ・脳卒中後（脳出血、脳梗塞、くも膜下出血）
- ・外傷性脳損傷後



—自動車運転評価の流れ— (外来リハビリテーション)

① リハビリテーション科受診
※リハビリテーション処方

② リハビリテーション評価
・基本情報の調査
・神経心理学的検査（筆記検査）
・ドライビングシミュレーター
・停止車両評価 など

訓練

③ 診断書

④ 交通免許センターへ

11/21～28 医療安全推進週間

院内各部署がミスやトラブル防止のため、注意点を標語にした「医療安全カルタ」を11月21～28日、待合ホールに展示。
“医療安全かるた”は医療関係者だけでなく患者さん・ご家族にも、大切な安全の意識を再度考える機会を与えてくれました。



病院協会より表彰されました

◆ 優秀職員会長表彰

◆ 永年勤続者会長表彰

表彰を受けた職員は、これからも地域の方から頼りにされる職員を目指し、頑張っていこうと気持ちを新たにしました。

またこれからも多数の職員が受賞できるように、職場環境の整備や職員に対するサポートを継続して行きたいと考えております。

11/24 消防訓練

橋本市消防本部の協力・指導を受け、火災発生時の通報・初期消火から避難までの消防訓練や消火器の取り扱い訓練を実施しました。

当院ではもし火災が起きた際でも安全に患者さんを避難させることができるよう毎年訓練を実施しております。



はじめまして。

この度、伊都郡かつらぎ町に新規開院いたしました「にじいろ内科クリニック」の岡本美保と申します。

国道 24 号線沿い、オークワ様・紀陽銀行様のすぐ近くです。

地域ではめずらしい女性医師による内科の診療所です。

高血圧・糖尿病・高コレステロール血症・不眠・湿疹・便秘症、各種予防接種・健康診断
(特定健診や企業健診など)など幅広く診療させていただきます。

また、クリニックの裏側にはドライブイン診療のスペースも備えております。車に乗ったまま診療を受けることができ、風邪症状のある方・小さなお子様連れの方などに大変喜ばれています。

常に患者さま、患者さまご家族の不安や心配に寄り添いながら、丁寧な説明を心がけています。

どうぞお気軽にお立ち寄りください。



院長 岡本美保



* 本文は岡本美保先生よりご寄稿いただきました。

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●
14:00~17:00	●	●	△	—	●	—

【休診日】木曜午後・土曜午後・祝日・年末年始・お盆
△ 水曜日午後は 16:00~19:00 の診療です。

子育て中のスタッフも働きやすいよう、夜診 19 時までは水曜日のみです。月曜日・火曜日・金曜日は受付 17 時までとなります。予めご了承ください。



にじいろ内科クリニック ☎ 0736-23-2416
〒649-7173 伊都郡かつらぎ町大谷 893-9

Mi/ou みとうメディカル株式会社

— 地域密着型特定施設 みとうの里 —

〒648-0016
橋本市隅田町下兵庫 1047-2



0736-34-0404

0736-34-0405



高台に立地し、紀伊山地などのきれいな景色を十分に楽しんでいただけます。
入居者様・家族様にとってよい里である様、弊社施設では、一人一人寄り添った生活のお手伝いをさせていただきます。



ゆったり・・・
まったり・・・



居心地のいい場所
当院協力施設

